

平成30年5月31日

スマートフォンのSIMを用いた金融取引の電子署名に係る実証実験への参加について (金融庁「FinTech 実証実験ハブ」支援案件に採用)

トモニホールディングスグループの徳島銀行では、日本通信株式会社（東京都港区、代表：福田尚久、以下「日本通信」）によるスマートフォンのSIMを用いた金融取引の電子署名に係る実証実験に参加することをお知らせいたします。

なお、この実証実験は金融庁「FinTech 実証実験ハブ*」の支援案件として採用されました。

記

1. 実証実験の概要

申請者	日本通信
参加企業	徳島銀行、千葉銀行、群馬銀行、マネーフォワード、サイバートラスト
テーマ	電子証明書及び電子署名機能を搭載したSIMカードを用い、スマートフォンから銀行取引を行う実験。
実施期間	平成30年8月～10月

2. 実証実験の目的

インターネットを利用した銀行取引が拡大する中、利用される端末はスマートフォンが主流となりつつあります。そのため、スマートフォンを利用した銀行取引に対して、安心・安全でかつ利便性の高い仕組みが求められつつあります。

そこで今回、スマートフォンのSIMに電子証明書を搭載し、それを本人認証や銀行取引の電子署名として利用することで、スマートフォンからの各種の銀行取引について、安全性や利便性向上等に繋がるか検証を行います。

3. その他

本実証実験で得られるノウハウや知見を活かし、お客さまに安心・安全で利便性の高いサービス提供を目指します。

以上

(参考) FinTech 実証実験ハブとは

- 金融庁が平成29年9月に、FinTech推進の取組の一つとして設置したもので、金融庁がフィンテック企業や金融機関などにおいて、実験を通して整理したいと考えている論点について、解決へ向け計画的に支援する枠組み。対象となる論点は、コンプライアンスや監督対応上のリスク、サービスを提供する際に生じる法令解釈に係る実務上の課題等。